

(様式1)

令和4年度包括外部監査結果・意見等に対する是正措置
(令和6年度における対応状況)

番号	項目	監査の結果及び意見 (Pは令和4年度包括外部監査結果報告書のページ)	措置の内容
1	第3. 外部監査の結果及び意見 2 個別施設計画 (1) コスト縮減効果の過大評価の懸念 【意見】	(現状の問題点) 長寿命化計画における橋梁に係るコスト縮減効果の算定期間が短い期間で算定した結果、年平均コスト縮減額が過大に算定され、コスト縮減効果が過大評価されないか懸念される。 (解決の方向性) 事後保全型と予防保全型のライフサイクルコストの試算結果比較を合理的に検討できるように、コスト縮減効果の算定期間を設定する。 (P19)	令和6年4月に改定した橋梁長寿命化計画において、コストの縮減効果の算定期間を前計画の20年間から50年間へと見直しを行った。
2	第3. 外部監査の結果及び意見 2 個別施設計画 (2) 新技術等の活用による効率化の余地 【意見】	(現状の問題点) 現行の目視点検と比較し、新技術等の活用による点検業務の効率化の余地はありと考えられる。 (解決の方向性) 新技術等の活用目的(質・安全性の向上、コスト縮減等)と見込まれる効果を検討し、優先順位を明確にしたうえで、新技術等の活用を推進する。 (P20)	橋梁補修点検や工事において、新技術により、効率化やコスト縮減が見込まれる工法について、具体選定条件などを整理した上で、積極的に活用するよう事務所などに周知した。 また、AIを活用した路面調査を本格導入した。今後も国の動向や技術革新等の情報を確認しながら、新技術等の活用先や方法の拡大について検討を進める。
3	第3. 外部監査の結果及び意見 3 契約 (1) 指名競争入札とする理由に乏しい契約 【指摘】	(現状の問題点) 指名競争入札とする理由に乏しい契約が検出された。 ・除融雪業務委託、道路管理業務委託 ・除融雪機械整備業務委託 (解決の方向性) 土木事務所によっては、指名競争入札から一般競争入札に移行している事例も見られることから、指名競争入札の根拠を精査のうえ、指名競争入札とする理由に乏しい場合、現行の契約方法を見直す。 (P26)	道路管理業務等の現状を整理し、本庁関係課と協議を行い、公共土木施設に関する維持管理業務については、原則一般競争入札とすることで整理した。